

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL：0120-094-777(通話料無料)
公告の方法	当社は以下のURLで電子公告を行います。 https://www.shizuki.co.jp/ ※事故その他のやむを得ない事由により、電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
単元株式数	100株

ご注意

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

『指月(シツキ)』社名の由来

『指月』の社名は、創業者山本重雄が長州（現在の山口県）の出身であること、また幕末長州藩の一代家老として藩政改革で功を成した村田清風が先祖にあたることから、毛利家歴代の居城である萩城（指月城）から名をお借りしたのが命名の由来です。



株式会社 指月電機製作所

本社 〒662-0867 兵庫県西宮市大社町10番45号
TEL:0798-74-5821 FAX:0798-73-0807
<https://www.shizuki.co.jp>



株主通信

第96期 報告書

2023年4月1日～2024年3月31日

メッセージ

全社一丸となる先に、

無限の可能性。



シツキ

証券コード 6994 / スタンダード市場

株式会社 指月電機製作所

全社一丸となる先に、無限の可能性。

2019-2028年度 長期経営ビジョン

10年後の指月グループのあるべき姿

挑戦する社風へと変革し、
品質第一のモノづくりと、
未来を見据えた新技術・新商品の開発、
グローバルな事業展開の推進により、
社員の夢を実現し社会に貢献する
企業グループになる

3期連続で最高売上高を更新。 xEVの減産を、他の事業がリカバー。

2023年度の経済環境を振り返ると、世界的な金融の引き締めや、世界情勢の不安定化、そして、素材価格やエネルギー価格の継続的な高騰など、私たち指月電機グループのものづくりを取り巻く環境は、依然として先行き不透明な状況が続いています。

外部環境の不透明さを象徴するかのように、xEV用コンデンサはお客様の生産調整に伴って、計画を大きく下回る減産を実施せざるを得ない状況となり、大幅な減収となりました。

代表執行役社長
足達 信章

中期経営計画

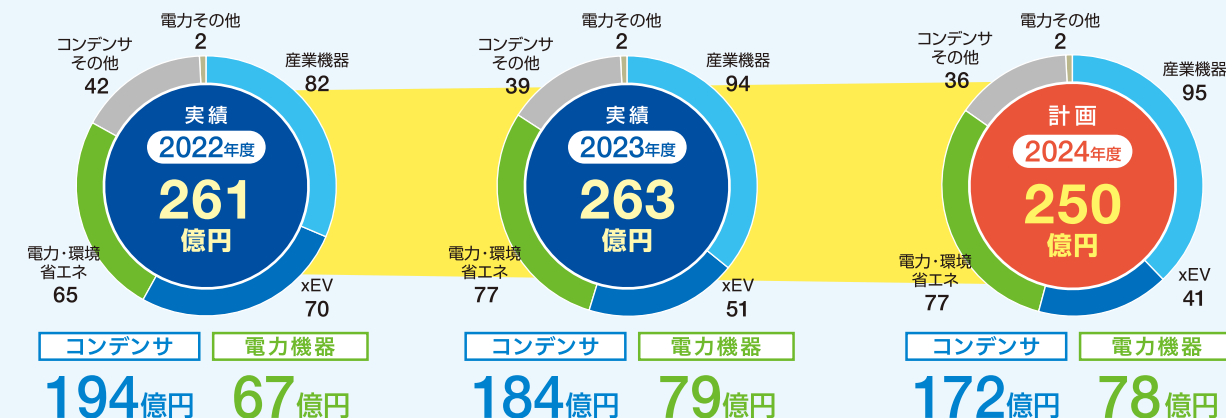
第Ⅰ期 2019～2021年度

第Ⅱ期 2022～2024年度

第Ⅲ期 2025～2028年度

第Ⅱ期には、パワーエレクトロニクスの普及に貢献するため、事業拡大を強力に推進します。
また、エネルギーマネジメントのニーズの高まりを見据え、製品の機能拡張や市場開拓に挑みます。

売上高(連結)〔億円〕



しかし一方で、グループが一丸となり、拠点や職種を越えて“知の融合”に取り組むことで、産業機器用コンデンサと電力・環境省エネ機器がxEV用コンデンサの減収分をリカバーするほどの伸張を遂げ、3期連続で売上高の過去最高を更新することができました。この取り組みにつきましては、次頁にて一例をご紹介させていただきます。2023年度における当社グループの連結売上高は26,305百万円（前年度比0.7%増）となり、業績予想を上回る結果となっています。

さらに、素材やエネルギー価格の上昇に対してまだタイムラグがあるものの、お客さまとの対話とご理解のもとで価格転嫁を進めたことで、前年度比にしておよそ1.6億円の増

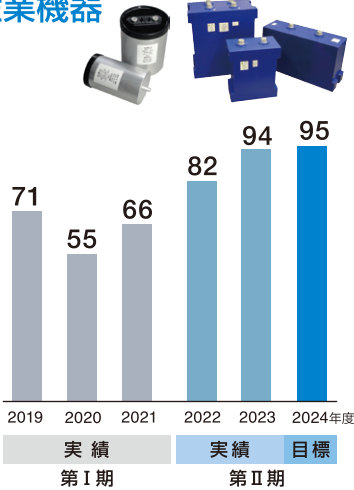
益（17.2%増）につながり、営業利益1,098百万円を計上することができました。一方、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、特別損失の発生や、みなし保有株式の売却益にかかる課税負担増などにより182百万円（前年度比76.1%減）となりました。

xEV用コンデンサの受注は2024年度も減少が継続すると見込まれ、厳しい状況が想定されます。当社グループにおいては、お客さまへの丁寧な説明を重ね、引き続き価格転嫁を進めるとともに、一つの事業の苦境を他の事業の強化によって補い合えるような、時代の変化に柔軟かつ俊敏に対応できる組織を目指し、立ち止まることなく挑戦を続けてまいります。

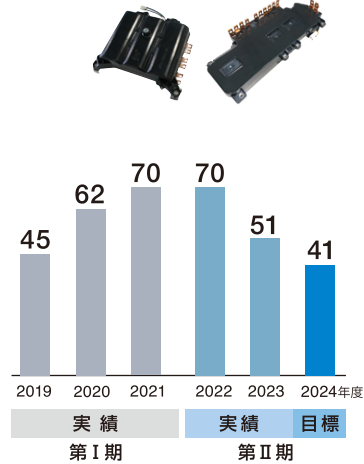
〈重点事業の売上高実績と目標（連結）〉

コンデンサ・モジュール

産業機器

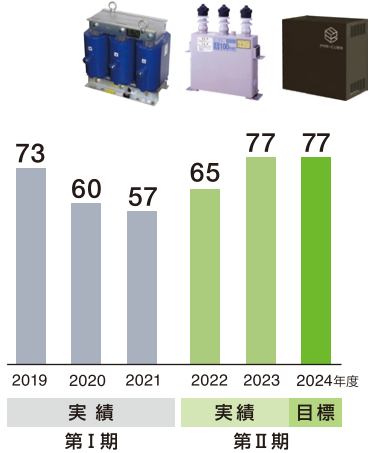


xEV



電力機器システム

電力・環境省エネ



生産能力が1.5倍に高まるラインも。
全社の知を集結させた、改善活動。

冒頭のご挨拶でも申し上げたように、xEV用コンデンサはお客さまの生産調整に伴って計画を大きく下回る減産を実施せざるを得ない状況となり、大幅な減収となりました。しかし、それをリカバーするように、拠点や職種を超えた“知の融合”がグループ内のさまざまなところで起こり、他の事業を大きく伸張させる契機となりました。

産業機器用コンデンサにおいては、西宮の本社や秋田指月からリーダークラスの人材が九州指月に集結し、文字通り“全社一丸”となって生産能力の改善に取り組みました。シ

ヅキ独自の統合マネジメントシステムである「JIS（シムス）」の考え方にに基づき、製造現場に潜む問題点を一つひとつ抽出して課題を明確にし、そのテーマに取り組む担当者を決め、一つずつ着実に解決していく。そして、非常に細かな課題から、すぐには答えが出せない大きなテーマまで、数十回、数百回と改善を積み重ねていく。まだまだ課題や検討すべき点は山積していますが、2023年8月から本格的に始まった改善活動は、2024年1月にはお客さまのご要求にお応えできる水準に達し、生産を軌道に乗せることができました。特に大きな問題が見られたラインでは、生産能力が以前のおよそ1.5倍となり、全社から集まったメンバーたちの熱意と創意工夫の賜物だと感じています。

ともに成果を挙げ、
ともに成長を重ねていく。

教育を受けた若きリーダーたちに、
実践の機会と、成功体験を。

九州指月での取り組みにおいて活躍したのは、前回の株主通信でご紹介した、秋田指月の若きリーダーたちでした。秋田指月では、時間と人員をかけて“現場でものづくりをリードする班長クラスの人材の再教育”に取り組み、「自ら課題を見つけ、解決へ向けてチームを率いる力」を養ってきました。

こうした教育を受けたメンバーたちが早速、九州指月に赴いて学んだことを実践する機会を得ることができ、彼らは目覚ましい成果を挙げています。次世代のリーダーが育ち、成功体験を積み重ねていくことは、私たち指月電機グループにとって、かけがえのない財産になると考えています。

素材入手難の時こそ、安定供給を。
力を合わせ、逆境をチャンスに。

電力・環境省エネ機器においては、特に「瞬時電圧低下補償装置」が伸張に寄与しました。2023年度は、材料の入手難がニュースにも取り沙汰されるほど大きな問題となり、次々と供給難に陥るメーカーが現れた年でした。

このような厳しい環境のもと、シヅキでは開発から設計、製造、販売まで、あらゆる職域のメンバーたちが一体となり、材料のコントロールからお客さまからの引き合いの調整まで、

あらゆる対策を講じたことで安定的な供給を果たすことができ、お客さまからの新規受注や信頼の獲得につながりました。個々の力を掛け合わせて“知の融合”をはかることで、逆境をチャンスに変えることができた好事例だと考えます。

需要変動や環境の変化にも、
しなやかに対応できる強さを。

“知の融合”はさらに、事業部の垣根を越えた相互生産という新たなチャレンジにも発展しようとしています。例えば、各拠点がお互いの設備と生産能力を活かし合い、各々の製品を相互に生産できるようにすることで、需要変動をはじめとする外部環境の変化にも、しなやかに対応し、一つのセグメントの減産を別のセグメントの増産によって補うことができるようになります。

とても難易度の高いチャレンジではありますが、既にそれぞれ事業部からメンバーが集まり、お互いの経験と知見を持ち寄ることで、新たな発見や変化が生まれつつあります。このような融合によって、さらなる技術の高度化とコスト競争力の強化をはかり、強固なグローバル戦略を打ち出せる強い組織体質をつくり上げていく所存です。そして、中期経営計画第Ⅲ期へ向けて、しっかりと足元を踏み込み、さらなる跳躍を遂げてまいります。

株主の皆さまにおかれましても、ご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

安定供給で信頼を築き、大きく伸長

瞬低補償装置

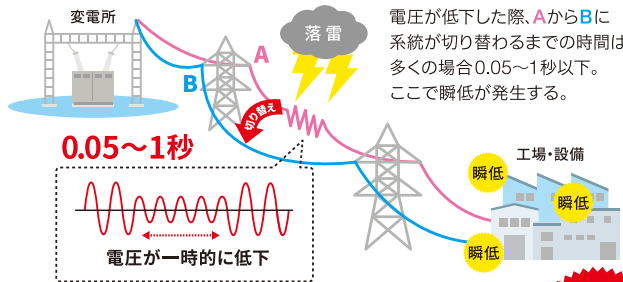
昨年に続き、「瞬低補償装置」は大きく伸長し、過去最高の売上高を更新する牽引力の一つとなりました。設備投資の回復に加え、材料の入手困難時にもあらゆる職域のメンバーが一体となって安定的な供給を果たすことで、新規受注や信頼の獲得につながりました。今後、生成AI向けの投資増加により、データセンターの建設などにともなう需要増加も見込まれます。



『0.05秒』その一瞬が大きなリスクに 瞬低Q&A

Q1 そもそも「瞬低」って何？

瞬低とは「瞬時電圧低下」の略称で、電力システムで一瞬、電圧が低下する現象のこと。たとえ一瞬でも、高度な制御を行う機器には大きな影響があり、生産ラインの停止や製品不良の発生など甚大な被害を招くこともあります。



電圧が低下した際、AからBにシステムが切り替わるまでの時間は多くの場合0.05～1秒以下。ここで瞬低が発生する。

Q2 どうして「瞬低」が起こるの？

電力系統の送電線に故障が起こることで発生します。故障の要因は、落雷による短絡故障のほか、着雪の落下による送電線の跳ね上がりや、強風による送電線の自由振動などがあります。

Q3 停電とはどう違うの？

瞬低と停電との違いは、電圧低下時間と発生頻度。瞬低は停電に比べ、電圧が落ちる時間は短いものの、発生する頻度は非常に高くなっています。

	電圧低下時間	発生頻度
瞬 低	0.05～1秒以下程度	3～6回/年
停 電	数分～数時間	0.13回/年

約95%
以上が
瞬低!!

電設工業展(JECA FAIR 2024)出展——瞬低への備えをはじめ、持続可能な社会の実現へ——

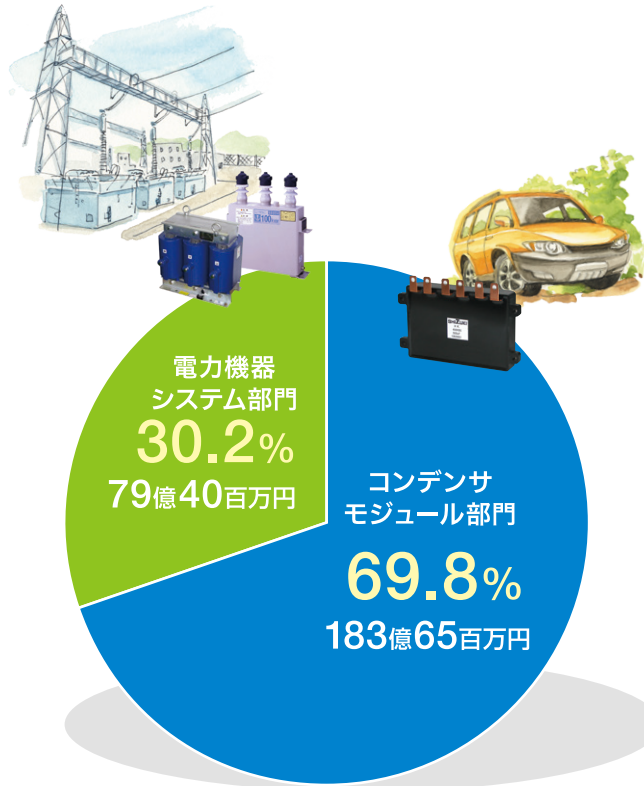


2024年5月29日～31日、東京ビッグサイトにて開催された「電設工業展(JECA FAIR 2024)」に出展。「レジリエンス強化によるサステナブルな社会への貢献」をテーマに、お客さまの事業継続性や地球環境への貢献につながる製品を出展いたしました。なかでも瞬低補償装置は、「瞬低」という現象そのものへの認知がまだ低いことから、イラストや映像を用いて、瞬低発生のメカニズムや身近なところで起こる瞬低被害をわかりやすく解説するとともに、装置を活用した方策をご提案しました。異常気象やゲリラ豪雨による雷で発生する「瞬低」は、製造設備の停止を招き、最近ではテーマパークのアトラクションが停止するなど、ニュースでも大きく取り上げられています。

瞬低補償装置
詳しくは
こちらから



2023年度通期の業績概要



連結売上高

263億5百万円

※セグメント別の営業利益については、調整額△1,805百万円があります。
(セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用)

コンデンサ・モジュール部門

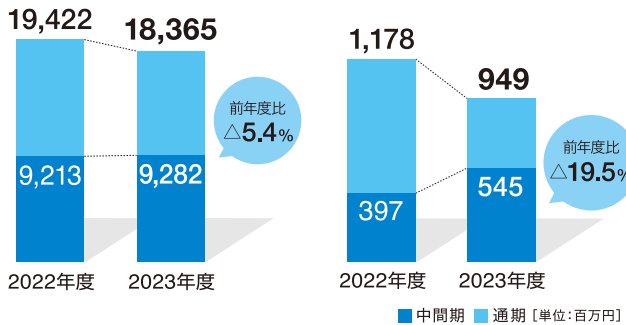
産業機器用コンデンサはパワエレ市場を中心に年間を通じて好調に推移し伸長しました。一方、xEV用コンデンサは客先の生産調整に伴い、大幅な減産を実施せざるを得ない状況となり、大幅な減収となりました。結果、売上高は18,365百万円(前年度比5.4%減)となりました。

売上高

183億65百万円

営業利益

9億49百万円



電力機器システム部門

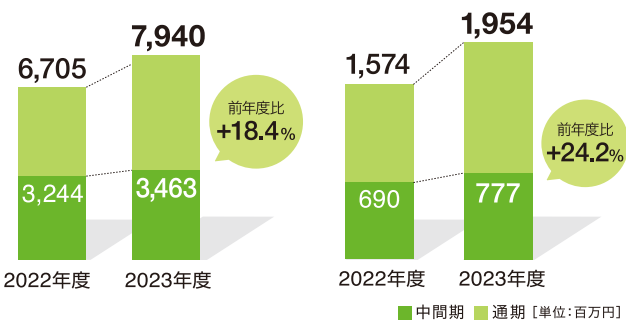
主に国内の設備投資の伸長を背景として、力率改善装置や瞬低補償装置を中心とした環境省エネ市場の売上が好調に推移いたしました。結果、売上高は7,940百万円(前年度比18.4%増)となりました。

売上高

79億40百万円

営業利益

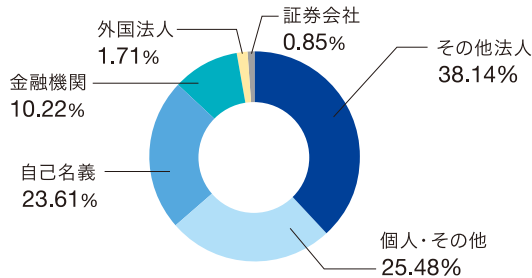
19億54百万円



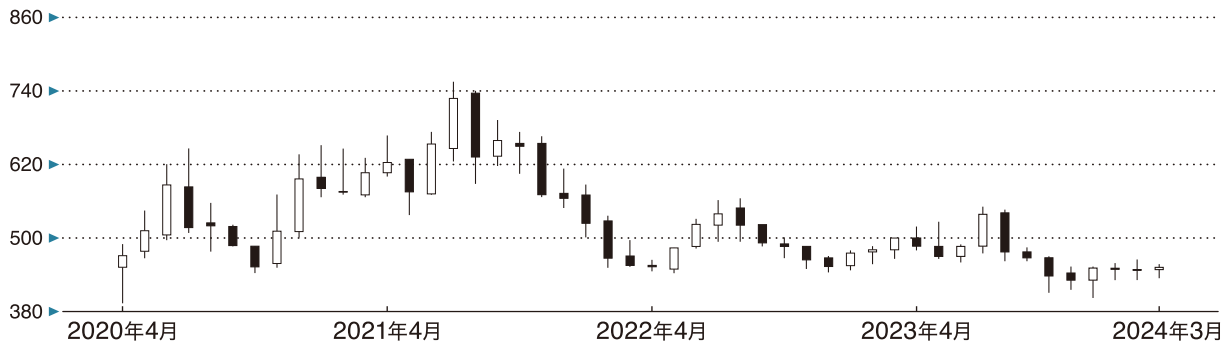
HIGHLIGHTS			FINANCIAL STATEMENTS			メッセージ	トピックス	セグメント情報	財務ハイライト	連結財務諸表	株式・会社概要																																																																														
財務ハイライト			連結財務諸表																																																																																						
売上高 ■ 中間期 ■ 通期 (億円) 300 250 200 150 100 50 0 2021年度 2022年度 2023年度 238 261 263 109 125 127			営業利益・営業利益率 ■ 中間期 ■ 通期 ● 営業利益率 (億円) 24 20 16 12 8 4 0 2021年度 2022年度 2023年度 10.0 9.3 10.9 3.0 1.4 4.1 (%) 6.0 4.0 2.0 4.2 3.6 4.2			1株当たり利益 (EPS) (円) 40 30 20 10 0 2021年度 2022年度 2023年度 28.7 23.1 6.7			連結貸借対照表 (要旨) (単位:百万円) <table><tr><th>科 目</th><th>第95期 通期 2023年3月31日現在</th><th>第96期 通期 2024年3月31日現在</th></tr><tr><td colspan="3">資産の部</td></tr><tr><td>流動資産</td><td>21,822</td><td>19,179</td></tr><tr><td>現金及び預金</td><td>9,346</td><td>4,531</td></tr><tr><td>売上債権</td><td>9,344</td><td>11,374</td></tr><tr><td>棚卸資産</td><td>2,871</td><td>2,927</td></tr><tr><td>その他資産</td><td>260</td><td>346</td></tr><tr><td>有形固定資産</td><td>12,843</td><td>13,087</td></tr><tr><td>無形固定資産</td><td>425</td><td>414</td></tr><tr><td>投資その他の資産</td><td>3,026</td><td>3,797</td></tr><tr><td>資産合計</td><td>38,117</td><td>36,479</td></tr><tr><td colspan="3">負債の部</td></tr><tr><td>流動負債</td><td>3,889</td><td>5,247</td></tr><tr><td>固定負債</td><td>8,490</td><td>8,459</td></tr><tr><td>負債合計</td><td>12,380</td><td>13,707</td></tr><tr><td colspan="3">純資産の部</td></tr><tr><td>株主資本</td><td>22,583</td><td>18,925</td></tr><tr><td>資本金</td><td>5,001</td><td>5,001</td></tr><tr><td>資本剰余金</td><td>4,276</td><td>4,276</td></tr><tr><td>利益剰余金</td><td>13,327</td><td>13,269</td></tr><tr><td>自己株式</td><td>△ 21</td><td>△ 3,621</td></tr><tr><td>その他の包括利益累計額</td><td>2,737</td><td>3,363</td></tr><tr><td>非支配株主持分</td><td>415</td><td>483</td></tr><tr><td>純資産合計</td><td>25,737</td><td>22,772</td></tr><tr><td>負債純資産合計</td><td>38,117</td><td>36,479</td></tr></table>						科 目	第95期 通期 2023年3月31日現在	第96期 通期 2024年3月31日現在	資産の部			流動資産	21,822	19,179	現金及び預金	9,346	4,531	売上債権	9,344	11,374	棚卸資産	2,871	2,927	その他資産	260	346	有形固定資産	12,843	13,087	無形固定資産	425	414	投資その他の資産	3,026	3,797	資産合計	38,117	36,479	負債の部			流動負債	3,889	5,247	固定負債	8,490	8,459	負債合計	12,380	13,707	純資産の部			株主資本	22,583	18,925	資本金	5,001	5,001	資本剰余金	4,276	4,276	利益剰余金	13,327	13,269	自己株式	△ 21	△ 3,621	その他の包括利益累計額	2,737	3,363	非支配株主持分	415	483	純資産合計	25,737	22,772	負債純資産合計	38,117	36,479
科 目	第95期 通期 2023年3月31日現在	第96期 通期 2024年3月31日現在																																																																																							
資産の部																																																																																									
流動資産	21,822	19,179																																																																																							
現金及び預金	9,346	4,531																																																																																							
売上債権	9,344	11,374																																																																																							
棚卸資産	2,871	2,927																																																																																							
その他資産	260	346																																																																																							
有形固定資産	12,843	13,087																																																																																							
無形固定資産	425	414																																																																																							
投資その他の資産	3,026	3,797																																																																																							
資産合計	38,117	36,479																																																																																							
負債の部																																																																																									
流動負債	3,889	5,247																																																																																							
固定負債	8,490	8,459																																																																																							
負債合計	12,380	13,707																																																																																							
純資産の部																																																																																									
株主資本	22,583	18,925																																																																																							
資本金	5,001	5,001																																																																																							
資本剰余金	4,276	4,276																																																																																							
利益剰余金	13,327	13,269																																																																																							
自己株式	△ 21	△ 3,621																																																																																							
その他の包括利益累計額	2,737	3,363																																																																																							
非支配株主持分	415	483																																																																																							
純資産合計	25,737	22,772																																																																																							
負債純資産合計	38,117	36,479																																																																																							
総資産営業利益率 (ROA) (%) 4.0 3.0 2.0 1.0 0.0 2022年3月 2023年3月 2024年3月 3.1 2.7 2.9			純資産残高・自己資本比率 ■ 純資産残高 ● 自己資本比率 (億円) 400 350 300 250 200 150 100 50 0 2022年3月 2023年3月 2024年3月 250 257 227 76.5 66.4 61.1 (%) 80.0 70.0 60.0			棚卸資産残高・棚卸資産回転率 ■ 棚卸資産残高 ● 棚卸資産回転率 (億円) 50 40 30 20 10 0 2022年3月 2023年3月 2024年3月 25 28 29 9.4 9.1 9.0 (回転) 10.0 8.0			連結損益計算書 (要旨) (単位:百万円) <table><tr><th>科 目</th><th>第95期 通期 2022年4月 1日から 2023年3月31日まで</th><th>第96期 通期 2023年4月 1日から 2024年3月31日まで</th></tr><tr><td>売上高</td><td>26,127</td><td>26,305</td></tr><tr><td>売上原価</td><td>20,809</td><td>20,382</td></tr><tr><td>売上総利益</td><td>5,318</td><td>5,923</td></tr><tr><td>販売費及び一般管理費</td><td>4,381</td><td>4,825</td></tr><tr><td>営業利益</td><td>937</td><td>1,098</td></tr><tr><td>営業外収益</td><td>624</td><td>562</td></tr><tr><td>営業外費用</td><td>337</td><td>540</td></tr><tr><td>経常利益</td><td>1,223</td><td>1,120</td></tr><tr><td>特別利益</td><td>－</td><td>10</td></tr><tr><td>特別損失</td><td>56</td><td>164</td></tr><tr><td>税金等調整前当期純利益</td><td>1,166</td><td>967</td></tr><tr><td>法人税、住民税及び事業税</td><td>335</td><td>777</td></tr><tr><td>法人税等調整額</td><td>55</td><td>△ 36</td></tr><tr><td>当期純利益</td><td>775</td><td>226</td></tr><tr><td>非支配株主に帰属する当期純利益</td><td>14</td><td>44</td></tr><tr><td>親会社株主に帰属する当期純利益</td><td>760</td><td>182</td></tr></table>						科 目	第95期 通期 2022年4月 1日から 2023年3月31日まで	第96期 通期 2023年4月 1日から 2024年3月31日まで	売上高	26,127	26,305	売上原価	20,809	20,382	売上総利益	5,318	5,923	販売費及び一般管理費	4,381	4,825	営業利益	937	1,098	営業外収益	624	562	営業外費用	337	540	経常利益	1,223	1,120	特別利益	－	10	特別損失	56	164	税金等調整前当期純利益	1,166	967	法人税、住民税及び事業税	335	777	法人税等調整額	55	△ 36	当期純利益	775	226	非支配株主に帰属する当期純利益	14	44	親会社株主に帰属する当期純利益	760	182																								
科 目	第95期 通期 2022年4月 1日から 2023年3月31日まで	第96期 通期 2023年4月 1日から 2024年3月31日まで																																																																																							
売上高	26,127	26,305																																																																																							
売上原価	20,809	20,382																																																																																							
売上総利益	5,318	5,923																																																																																							
販売費及び一般管理費	4,381	4,825																																																																																							
営業利益	937	1,098																																																																																							
営業外収益	624	562																																																																																							
営業外費用	337	540																																																																																							
経常利益	1,223	1,120																																																																																							
特別利益	－	10																																																																																							
特別損失	56	164																																																																																							
税金等調整前当期純利益	1,166	967																																																																																							
法人税、住民税及び事業税	335	777																																																																																							
法人税等調整額	55	△ 36																																																																																							
当期純利益	775	226																																																																																							
非支配株主に帰属する当期純利益	14	44																																																																																							
親会社株主に帰属する当期純利益	760	182																																																																																							
売上高は、xEV用コンデンサが大幅減となるも、産業機器用コンデンサ、電力・環境省エネ機器でリカバーし、前年度及び業績予想値を共に上回り、3期連続で過去最高を更新。営業利益は、価格転嫁の進展により増益。一方で、当期純利益は、特別損失の発生や、みなし保有株式の売却益に対する課税負担増により、減益となりました。			連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨) (単位:百万円) <table><tr><th>科 目</th><th>第95期 通期 2022年4月 1日から 2023年3月31日まで</th><th>第96期 通期 2023年4月 1日から 2024年3月31日まで</th></tr><tr><td>営業活動によるキャッシュ・フロー</td><td>2,474</td><td>△ 271</td></tr><tr><td>投資活動によるキャッシュ・フロー</td><td>△ 1,417</td><td>△ 2,086</td></tr><tr><td>財務活動によるキャッシュ・フロー</td><td>4,179</td><td>△ 2,547</td></tr><tr><td>現金及び現金同等物に係る換算差額</td><td>58</td><td>90</td></tr><tr><td>現金及び現金同等物の増減額</td><td>5,294</td><td>△ 4,814</td></tr><tr><td>現金及び現金同等物の期首残高</td><td>4,051</td><td>9,346</td></tr><tr><td>現金及び現金同等物の期末残高</td><td>9,346</td><td>4,531</td></tr></table>						科 目	第95期 通期 2022年4月 1日から 2023年3月31日まで	第96期 通期 2023年4月 1日から 2024年3月31日まで	営業活動によるキャッシュ・フロー	2,474	△ 271	投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,417	△ 2,086	財務活動によるキャッシュ・フロー	4,179	△ 2,547	現金及び現金同等物に係る換算差額	58	90	現金及び現金同等物の増減額	5,294	△ 4,814	現金及び現金同等物の期首残高	4,051	9,346	現金及び現金同等物の期末残高	9,346	4,531																																																									
科 目	第95期 通期 2022年4月 1日から 2023年3月31日まで	第96期 通期 2023年4月 1日から 2024年3月31日まで																																																																																							
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,474	△ 271																																																																																							
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,417	△ 2,086																																																																																							
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,179	△ 2,547																																																																																							
現金及び現金同等物に係る換算差額	58	90																																																																																							
現金及び現金同等物の増減額	5,294	△ 4,814																																																																																							
現金及び現金同等物の期首残高	4,051	9,346																																																																																							
現金及び現金同等物の期末残高	9,346	4,531																																																																																							

株式の状況	
発行可能株式総数	128,503,000株
発行済株式総数	33,061,003株
株主数	4,491名

所有者別株式数分布状況



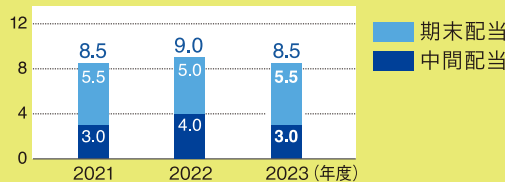
株価の推移(円)



期末配当金
1株当たり
5.5円

- 期末配当金 1株当たり5円50銭
- 支払対象者 2024年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者
- 支払開始日 2024年6月10日

1株当たりの配当実績(単位:円)



大株主(上位10名)			
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)	
三菱電機株式会社	6,980	27.6	
株式会社村田製作所	4,471	17.7	
株式会社りそな銀行	1,299	5.1	
指月協友持株会	1,031	4.1	
株式会社みなと銀行	925	3.7	
指月電機製作所自社株投資会	455	1.8	
清原 達郎	388	1.5	
東京海上日動火災保険株式会社	383	1.5	
株式会社三菱UFJ銀行	301	1.2	
MSIP CLIENT SECURITIES	261	1.0	

(注)持株比率は、自己株式(7,805,410株)を控除して計算しております。

会社概要

商号	株式会社指月電機製作所
英文名称	SHIZUKI ELECTRIC COMPANY INC.
本社所在地	〒662-0867 兵庫県西宮市大社町10番45号 TEL:0798-74-5821
ホームページ	https://www.shizuki.co.jp/
創業年月日	1939年 3月10日
設立年月日	1947年 9月 1日
資本金	5,001,745,595円
グループ人員数	1,448名
主要取扱業務	■ コンデンサ及び関連機器・装置の製造販売 ■ 電力機器・装置の製造販売
営業拠点	● 東京支社 ● 東京支店／関西支店／中部支店 ● 仙台営業所／日立営業所 広島営業所／福岡営業所

生産子会社

社名	資本金	出資比率(%)
九州指月株式会社(福岡県)	300,000千円	100.0
秋田指月株式会社(秋田県)	300,000千円	100.0
岡山指月株式会社(岡山県)	300,000千円	100.0

関連会社

社名	資本金	出資比率(%)
株式会社 村田指月FCソリューションズ	100,000千円	35.0

役員

取締役		
取締役会会長	足達 信章*	
取締役	大槻 正教*	
取締役	小山 義雄	
取締役	谷 和義※	
取締役	松尾 誠人※	
取締役	奥西 啓祐※	

*は執行役を兼任 ※は社外取締役

執行役

代表執行役社長	足達 信章
専務執行役	大槻 正教
執行役	小田 敦
執行役	牧添 浩明
執行役	稲垣 裕一

生産・販売子会社

社名	資本金	出資比率(%)
アメリカンシツキ株式会社(米国 ネブラスカ州)	17,600千米ドル	100.0
タイ指月電機株式会社(タイ バンコク)	33,000千パーツ	70.0
指月獅子起(上海)貿易有限公司	250千米ドル	100.0